

第 10 回「伝わるメッセージの組み立て方」

グループワークその 1：次の例文を「明確な指示をする文章」に書き換えてみよう。

想定している場面：あなたは 1 限の科目を担当する教員である。遅れてやってくる学生が目立つので、全員に注意することにした。

例文：なるべく早く起きるようにして、1 限の講義に遅刻しないで出席するようにしましょう。

改定案：

グループワークその 2：次の例文を「自分が助けてもらえる可能性の高いお願い」に書き換えてみよう。

想定している場面：あなたは〇〇学の前期試験で不合格点をとってしまった。ピンチである。しかし、救済処置としての再試験をやらしてもらえれば、後期も頑張って通年で合格点にたどり着けるかもしれない。そこで〇〇学担当教員に「誠意のこもった」メールを送り、チャンスを与えてもらえるようお願いすることにした。

例文：〇〇学不合格でした。再試はいつですか？ かんたんにしてください。留年すると親に怒られます。たのみます。

改定案：

グループワークその3：どのような標識を出せば問題が解決するだろうか？

改定案：

学籍コード
(アルファベット+数字)

氏名

班